

第1号議案

全国大学生生活協同組合連合会
第65回通常総会





0. 第1号議案の位置付けについて

1. 2021年度 全国の大学生協の到達点

2. 2022年度 予想される社会の動きと私たちへの影響

3. 2022年度 全国の大学生協の活動方針

0

議案書 掲載なし

第1号議案の位置付け



大学生協連第1号議案とは…

大学生協グループ全体に

共通する運動体・事業体としての**指針**

2022年に全国で
目指すことを
みんなで確認！

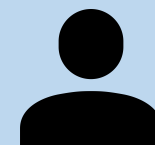
それぞれの
大学生協



事業連合



共済連・
大学生協連



大学生協連第1号議案とは…

大学生協グループ全体に
共通する運動体・事業体としての指針

大学生協
全体で取り組む
方針！

■協同組合の定義

(協同組合のアイデンティティに関する ICA 声明)
協同組合は、共同で所有し民主的に管理する
事業体を通じ、共通の経済的・社会的・文化的
ニーズと願いを満たすために自発的に
手を結んだ人々の自治的な組織である。

大学生協は
事業体を通じて、
組合員の共通の
経済的・社会的・文化的
ニーズ・願いを実現

大学生協は事業を通じて、 組合員の共通の経済的・社会的・文化的ニーズを実現

運動体

✓ 2022年度の大学生協グループ全体では、
何を実現するのか？

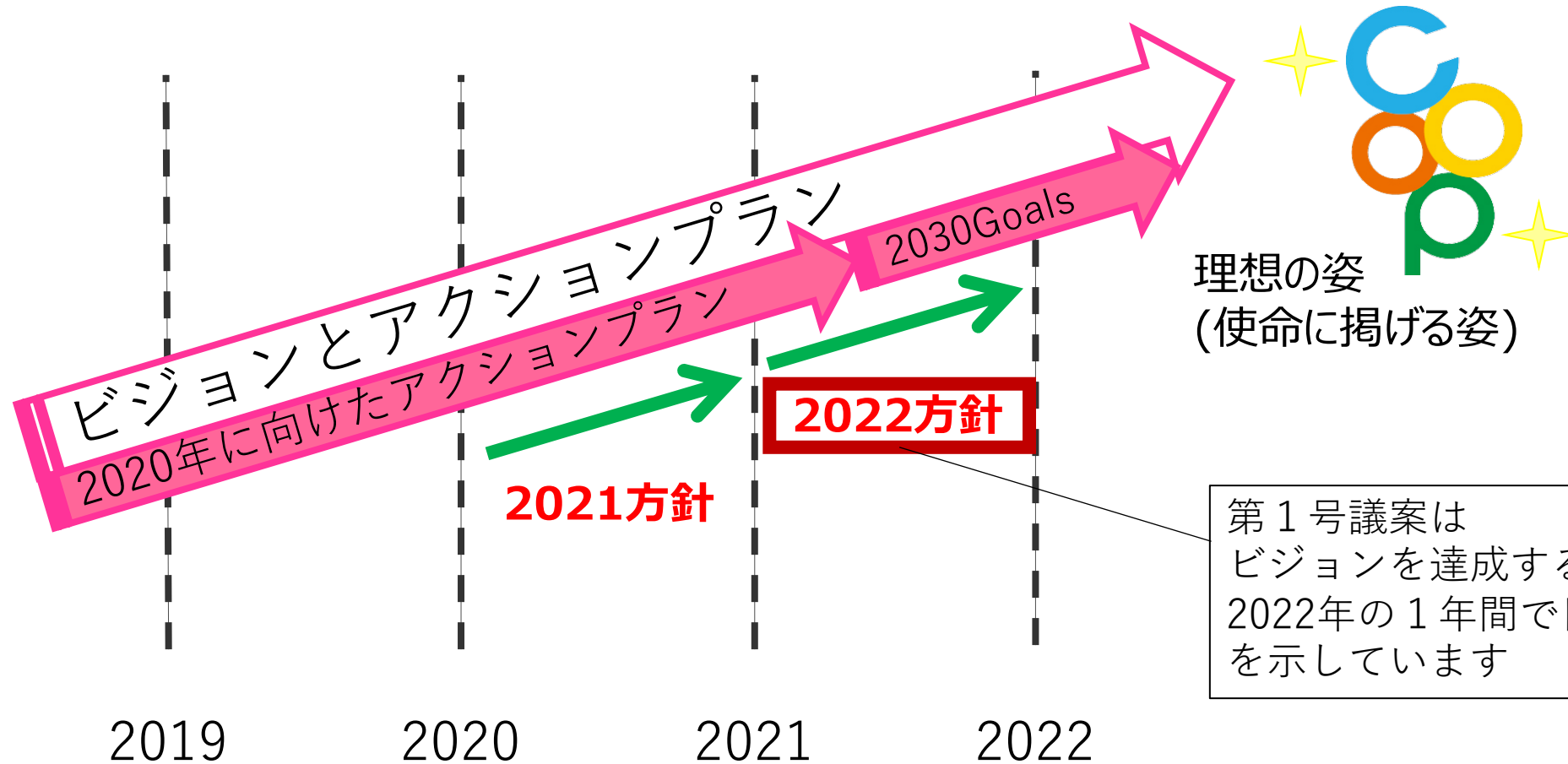
✓ 全国でムーブメントをつくる上でのポイントは？

そのために…

事業体

✓ 2022年度の大学生協グループ全体では
事業活動や組織活動で何に取り組むのか？

大学生協すべてに関わる総路線（共通認識）を
全国の大学生協で議論して生まれるものが第1号議案



1

2021年度 全国の大学生協の到達点

つながる元気、ときめきキャンパス。

～協同に確信を！今こそ、つながりあい、語りあい、たすけあおう～



「3つの危機」が続いており、組合員は厳しい状況に
孤立し、メンタルヘルスに大きな影響がある
大学生活に対する不安がある一方、頑張る姿が見られた



組織活動の面では、組織委員や総代を思うように集められないことも
事業活動の面では、引き続き厳しい状況が続く
2021年度予算でも会員合計で約20億円以上赤字が拡大する計画



組織委員や生協職員が「つながり」をテーマに奮闘
組合員の参加と利用を通じた「付加価値」の創出に着目
「学生生活支援」を共通のテーマとした大学との連携
「大学生の不安」は社会全体で解決すべきテーマに

学生にとって

「3つの危機」

暮らしの危機

「学費や生活費の見通しに不安があり、
安定した暮らしを継続できない！」

- ✓ 大学生がアルバイトできず収入が激減している
- ✓ 食生活も乱れ、健康で文化的な生活ができない

学びの危機

「Web授業が大変！」 「実習ができない！」
「進路の見通しが立たない！」

- ✓ 秋以降も対面での授業や実習が困難な状況
- ✓ 進路選択の見通しが立たずに不安が続く

コミュニティの危機

「友達がゼロ」 「孤独を感じている」
「学び合い・励まし合いができない！」

- ✓ 対面で会えない中、コミュニティを作れない…💧
- ✓ 気軽に相談できる仲間がいないストレス

学生にとって

「3つの危機」

暮らしの危機

アルバイト収入は厳しい状況が続くも、多様化している

- ✓ 0円～3万円未満が増えている。
- ✓ 一方で、2年生は4万円～7万円の層もいる
- ✓ シフト減、解雇、アルバイト先が見つからないの声は多く、数字にも表れている

} 多様化

学びの危機

オンライン講義は評価されているが、対面講義が切実に求められている！

- ✓ オンライン講義は「いつでも・どこでも・好きな時間に」学べることを半数以上の学生がメリットに感じている
- ✓ 友達と直接会える喜び、質問のしやすさ、理解度の点で対面講義は求められている

つながりの危機

コミュニティの危機からつながりの危機へ

- ✓ 友人が5人未満は依然として1,2年生で3人に1人
- ✓ 不安に思っていることからしても、孤独感や自分の居場所がないと感じる学生が多
- ✓ コミュニティ形成の段階以前に、人と人とがそもそもつながれていない！

生協にとって

「3つの難局」

経営の難局

リアル店舗が営業できない状況が続く

コミュニティの喪失が大学生協事業の悪化に直結

- ✓ 「生活に必要なものを共同購入する」ことそのものが崩壊
- ✓ 8月時点の会員生協の累計は経常剰余21.1億と前年比では回復したものの2019年比で▲18.2億と依然として厳しい状況

コミュニティ形成の難局

オンラインでの取り組みは前進したものの
人と人とのつながりづくりに課題は残る

- ✓ 新入生歓迎の取り組みを再開(前年+70大学生協)
- ✓ 新入学生委員の募集・総代選出に苦戦

生協組織の難局

活動のオンライン化で苦戦しつつも懸命に頑張っている！

- ✓ 1年生の生協学生委員は1,832名（前年比+76名）
- ✓ 一方で組織委員が“ゼロ”の学生委員会も。
- ✓ 生協職員と組織委員のコミュニケーションが再建のカギ

学生にとって

「3つの危機」

生協にとって

「3つの難局」

この状況の中で、
大学生協はどのような
価値を発揮できた？

組合員からは、
大学生協に対して
どのような期待が？

重点 生協経営

P.8

**組合員の声と参加の強化を通じて、
生協利用を促進し、生協の経営を強めましょう。**

- 大学生協の経営状況を生協のHPやSNSで公開し、組合員に利用を呼び掛けました。
- 大学との懇談を通じて、生協の経営状態をより深く伝えることで、大学に水光熱費の

減免等の協力をいただける事例が広がりました。

はこだて未来大学生協

Twitterでの食堂利用発信

利用者が100名を下回ると営業が厳しいことを伝え、利用者数を伝えました。利用者が多い日は感謝の言葉を添える発信も行い、生協のお店は組合員の利用で成り立つことを伝えました。

龍谷大学生協

百縁夕食

大学と連携して実施しました。食を提供するだけでなく、クラブサークル相談やレポート講習会を実施し、組合員どうしがつながるきっかけになりました。

大学生協事業連合

三者相談会の取り組み

取引先と生協が研究室の校費利用についてオンラインで提案・相談ができる取り組みです。生協が研究室と取引先をつなぐことでより充実した学修環境づくりのお手伝いできました。

東北ブロック

学生運営委員対象 大学生協「再生」事前説明会

ブロック運営委員会を前に、ブロック運営委員の学生を対象に、再生議論について説明・質疑応答を実施しました。ブロック運営委員では、学生運営委員から発言がありました。

方針①生協運営



P.12

大学生協が組合員組織であることを再認識し、組合員の積極的な運営参加を広げましょう。

- 総会・総代会は事前事後で提案動画やアンケートを実施するなどの工夫がありました。
- 組合員の参加を広げる取り組みが行われました。
- 全国規模のアンケート活動の実施と社会への大学生の現状を発信しました。

静岡大学生協

研究室訪問

教科書販売の報告と職員体制交代の挨拶チラシを持参して訪問。先生方の困り事も把握し、次の利用にもつながりました。

水産大学校生協

理事会の取り組み

総代会での3つの重点テーマと主な事業活動課題に関して学生と生協職員で話し合い、組合員としてどう向き合い、何ができるかを考えました。

福岡教育大学生協

JOHYAMA Meeting

学内団体とともにサークル紹介企画を実施しました。その後、サークルの人が総代になり総代会も無事に開催できました。大学コミュニティとのつながりの重要性が分かる取り組みです。

全国大学生協連

「届けよう！ コロナ禍の大学生生活アンケート」

全国の大学生を対象にコロナ2年目の生活を捉えるアンケートを実施。7,832の回答が集まりました。

方針②暮らし



P.16

組合員の生活実態を把握し、暮らしを支える取り組みとたすけあいのコミュニティづくりを強化しましょう。

- 組合員の暮らしを応援する取り組みが行われました。
- 新学期のつながりづくりの取り組みがオンラインで旺盛に行われました。
- 学生総合共済で組合員の病気やケガの困りごとに応えました。

弘前大学生協

学生総合共済ボード

給付状況だけでなく、窓口職員のコメントやたすけあいアンケートを掲載し、オール弘前大学生協で学生の健康と安全を支えています。

足利大学生協

新入生歓迎企画

新2年生の友達づくりの企画を実施しました。入学式もなく、つながりがつくりづらかったことから実施し、参加者から「ありがとう」の声がありました。

宮崎大学生協

漁協、地元業者との連携メニュー

漁協や地元業者の利用減の困り事と組合員の経済的に厳しい状況という三者の困り事を解決した取り組みです。組合員からも大好

全国大学生協連

全国大学生サミット 学生相談の分科会

各大学にある保健管理施設の先生方と学生が連携して学生相談の分科会を行い、実際に学生相談を体験できるようにしました。

方針③学び



P. 19

組合員の学びと成長の実態を把握し、新たな学び方や新たな学修支援の形を作りましょう。

- オンライン環境下での学生の学びと成長支援への新たなチャレンジがありました。
- オンライン環境下でも、教員と新入生とのつながりをつくる取り組みがありました。
- 組合員の学び方の実態や実感を調査し、大学生協に求められることを考えることができました。

釧路公立大学生協

大学との対話を通じたPC選定

釧路大学生にとって必要なPCを学生委員と生協職員が大学に伝えた結果、大学からPCの推薦をいただくことができ、利用につながりました。

立命館生協

就活新人さんいらっしゃい

就職活動不安から実施しました。就活情報の発信から就活について語り合えるコミュニティ形成までを意識しました。キャリアセンターや生協学生委員の先輩と協力して実施しました。

京都大学生協

X-academy

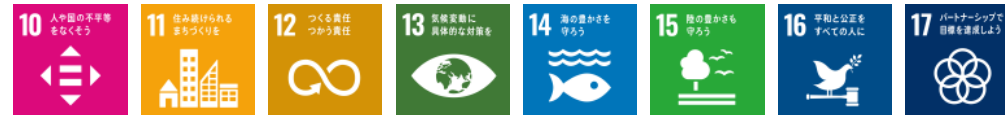
普段の授業ではなかなか関わる機会のない教員、同級生、先輩、先生からの紹介書籍、京大での学びに出会える講座です。1年間に渡る様々な人との出逢いが自分の変化につながります。

東海ブロック/ 事業連合東海地区

大学における教育とICT活用に関する実態調査

大学での教育と学びの在り方を正確に把握し、大学生協として引き続き学修支援のために日経BP社と協力して実施。8,000件近くの回答が集まりました。

方針④社会をつくる



P.22

持続可能な社会の実現に向けて、知り・知らせ・考え・話し合い・行動するきっかけを作しましょう。

■SDGsの学習会に取り組む会員生協が増え、大学生協の社会的課題を捉える切り口が広がりました。

■オンライン環境下での「知り、知らせ、考え、話し合う」取り組みが広がりを見せました。

札幌学院大学生協

リサイくるくるリ・リパック

1人の組合員がコロナ禍でもできることを考え、実施につなかりました。大学のプレスリリースでも発信され、大学とともに取り組みを行っています。

名古屋市立大学生協

防災パオ

学内サークルと一緒に街歩きの企画に取り組みました。キャンパス周辺を散策し、災害時に危険な場所や役立つ施設を探しました。探した場所は今後発信予定です。

近畿大学生協

金融リテラシー向上セミナー

他団体とつながり、投資や株式、行動経済学といった深い内容の金融リテラシーの情報提供を組合員に行うことができました。

東北ブロック

防災マネジメントツアー

災害が発生した際の初動の大切さや、大学の福利厚生を担う組織として、災害発生時にいかに早く大学生協を立て直せるかをマネジメントの観点から考えました。

2

2022年度

議案書 P.25～

予想される社会の動きと 私たちへの動向

1)社会の変化と影響

P.25

1. 新型コロナウイルス感染症の影響
2. 気候変動・環境問題に関する事
3. 国内政治・経済に関する事
4. 成年年齢引き下げ
5. 平和と国際政治に関する事
6. 協同組合

1) 社会の変化と影響

P. 25

1. 新型コロナウイルス感染症の影響

- ✓ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、国民へのワクチン接種も進み、社会経済活動は少しずつ回復の兆し
- ✓ 変異株の流行もあり、全世界的な感染拡大は依然として続く
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の影響で2021年4月～8月に中退した学生は701人

2. 気候変動・環境問題

- ✓ 気候変動は拡大し、加速し、深刻化している（IPCC報告書より）
- ✓ 2021年7月（静岡県熱海市での大規模な土石流の発生） ・ 8月集中豪雨
- ✓ 東日本大震災から10年の節目を迎えエネルギー問題
- ✓ 海洋プラスチックごみ汚染

1)社会の変化と影響

P. 26

4. 成年年齢引き下げ

- ✓2022年4月より成年年齢が18歳に引き下げられます。
- ✓大学入学者は基本的に全員「成年」になり、契約にまつわるトラブルの増加が懸念されます。

2)大学の動きとその影響

P. 27

1. 大学経営
2. 18歳人口の減少と大学の在学者数・大学進学率
3. 2040年に向けた「高等教育のグランドデザイン」が描く未来の大学の姿
4. ポストコロナ時代の大学のあり方～デジタルを活用した新しい学びの実現～

2)大学・高等教育の動きとその影響

P. 27

1. 大学経営

- ✓ 私立大学の2021年春の入学定員充足率が全体で初めて100％を割り込みました。
- ✓ 定員割れの大学は2020年度から93校増え、277校になりました
- ✓ 私立大学の数は3年連続増加傾向で、2021年度は過去最多の619校となり、現在の定員数のままでは経営難に陥る大学が出ると考えられます。

2. 18歳人口の減少と大学の在学者数・大学進学率／リカレント教育

- ✓ 18歳人口は年間5,000～18,000人ずつ減っている状況です。
- ✓ 2033年度には18歳人口は100万人を切り、2040年には88万人まで減少する見込みです。

3)組合員の生活を取り巻く変化や意識の変化

P. 28

1. 学生の経済状況について
2. 奨学金・給付金の活用状況
3. 生活のリスクとメンタルヘルス
4. 社会や政治への意識
5. 学部生の学びと成長・進路選択(就職活動)

3)組合員の生活を取り巻く変化や意識の変化

P. 28

1. 学生の経済状況について

- ✓ 収入・支出とも大きく減少
- ✓ 2021年4月～8月の中退者の主な理由は「経済的困窮」や「学生生活不適応や就学意欲低下」

3. 生活のリスクとメンタルヘルス

- ✓ 「こころの早期対応保障」の支払い件数は1,933件と大きく増加
- ✓ 「こころの病」に留意する必要

2022年度 全国の大学生協の活動方針

1) 2022年度活動テーマと基調

つながる元気、ときめきキャンパス。

組合員をど真ん中に！

組合員の参加と協同で、人がつながる・元気がつながる大学生活を創り出そう！」

 キャンパスライフは引き続き変化する→組合員の受け止めも多様なものに
組合員の姿を把握し、組合員の声と要望を、組合員の参加と協同で叶えよ

 う **組合員をど真ん中に！**」置こう
組合員の生活を出発点に取り組みを作っていこう

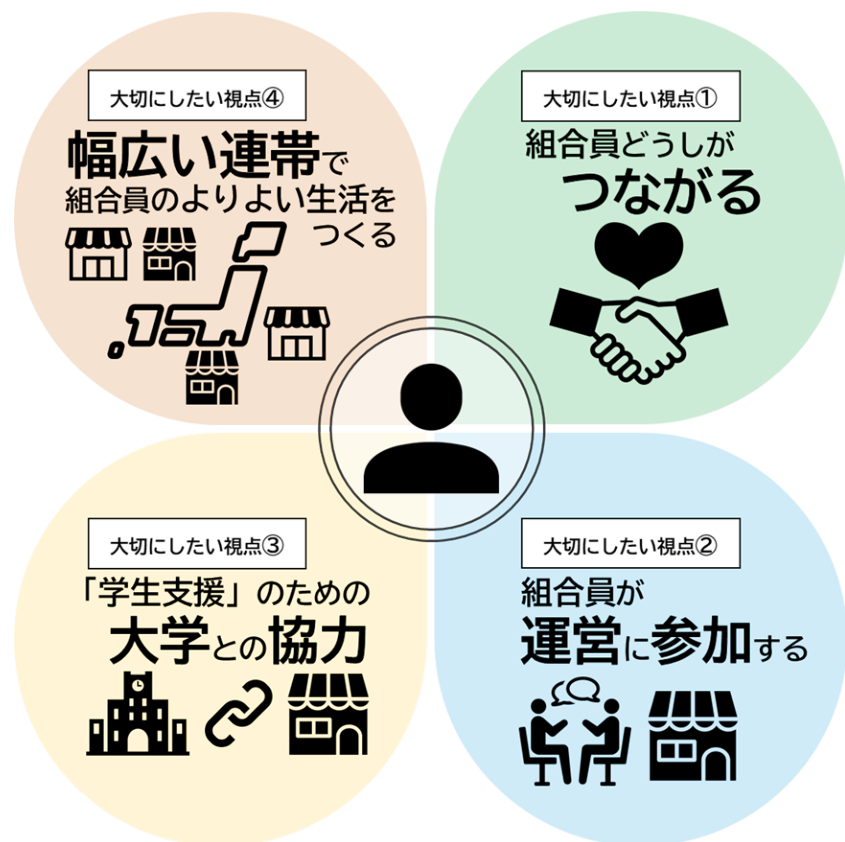
 **4つの「元気」**をつくることできる

 人がつながる・元気がつながる大学生活を組合員・大学・地域と創ろう

つながる元気、ときめきキャンパス。

組合員をど真ん中に！

組合員の参加と協同で、人がつながる・元気がつながる大学生活を創り出そう！



活動方針①：組合員が参画する場づくり

私たちは、組合員が大学生協に参画する場面をつくり、組合員・大学が必要とし、組合員が参画したくなる大学生協づくりを進めます。

活動方針②：健康安全

私たちは、組合員の生活実態を把握し、つながりづくりや組合員どうしがたすけあう取り組みを通じて健康で安全な大学生活を実現します。

活動方針③：これからの学びと成長

私たちは、変化する組合員の学び方や大学の学修支援について把握し、組合員が仲間とともに自己実現・成長する機会づくりを行います。

活動方針④：社会をつくる

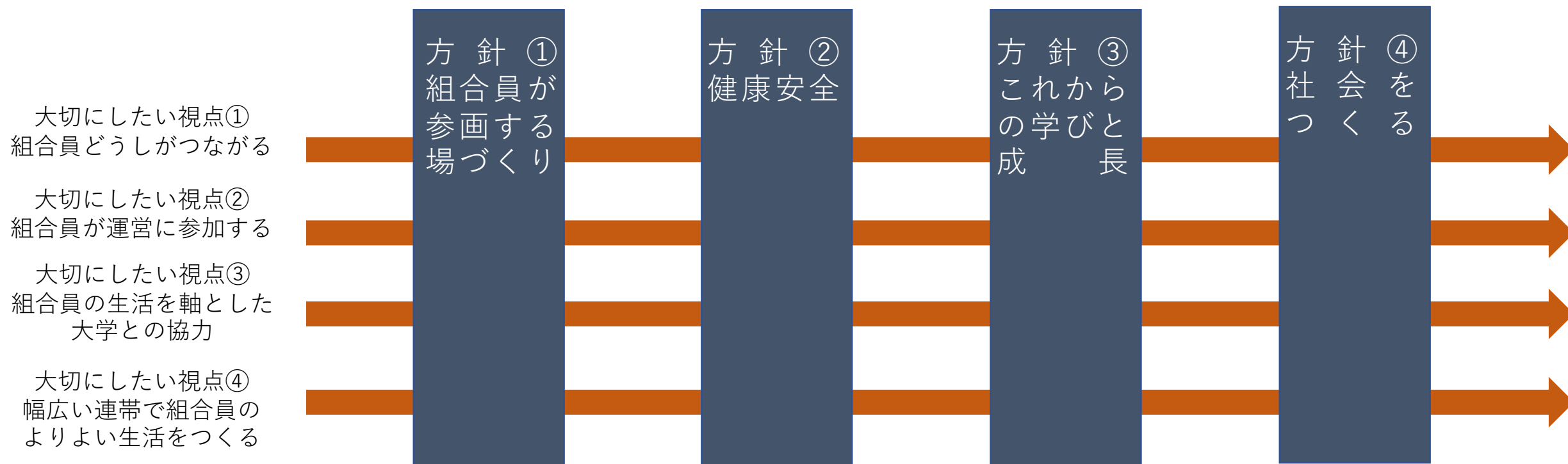
私たちは、持続可能な社会の実現に向けて、組合員の興味・関心を出発点に、知り、知らせ・考え・話し合い・行動するきっかけづくりを行います。

2) 2022年度の全国の大学生協の活動方針と大切にしたい視点

「大切にしたい視点」と「活動方針」が存在することを確認！

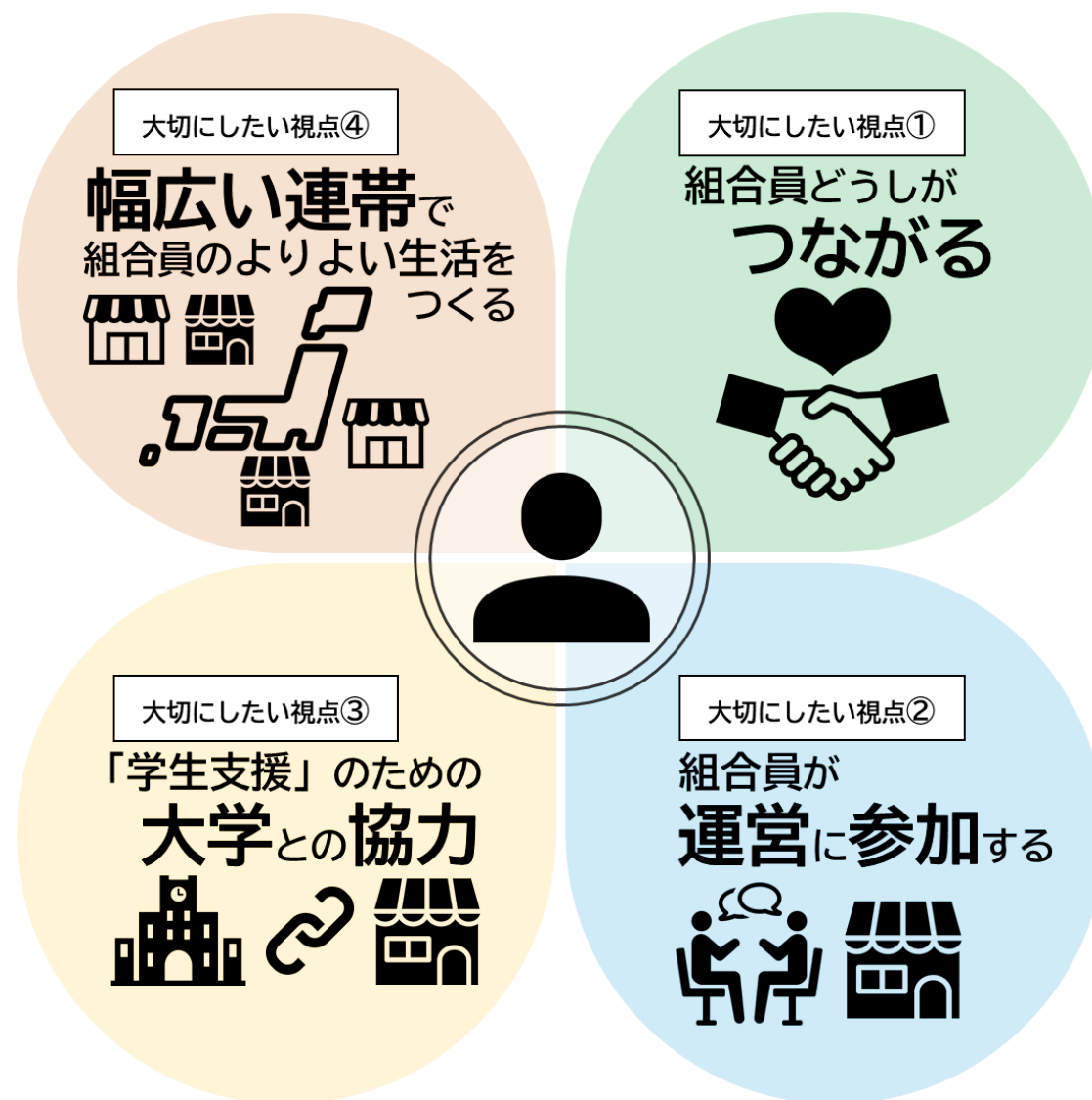
2022年度の活動テーマ

組合員をど真ん中に！組合員の参加と協同で、人がつながる・元気がつながる大学生活を創り出そう！



「大切にしたい視点」は**関わる人の視点・範囲**で整理しています。

P.31



2) 2022年度の全国の大学生協の活動方針と大切にしたい視点

P.31

ヨコ

○大切にしたい視点

いま、大学生協**すべての取り組みで大切にしたい考え方**を4つに整理。

2022年度の活動テーマ

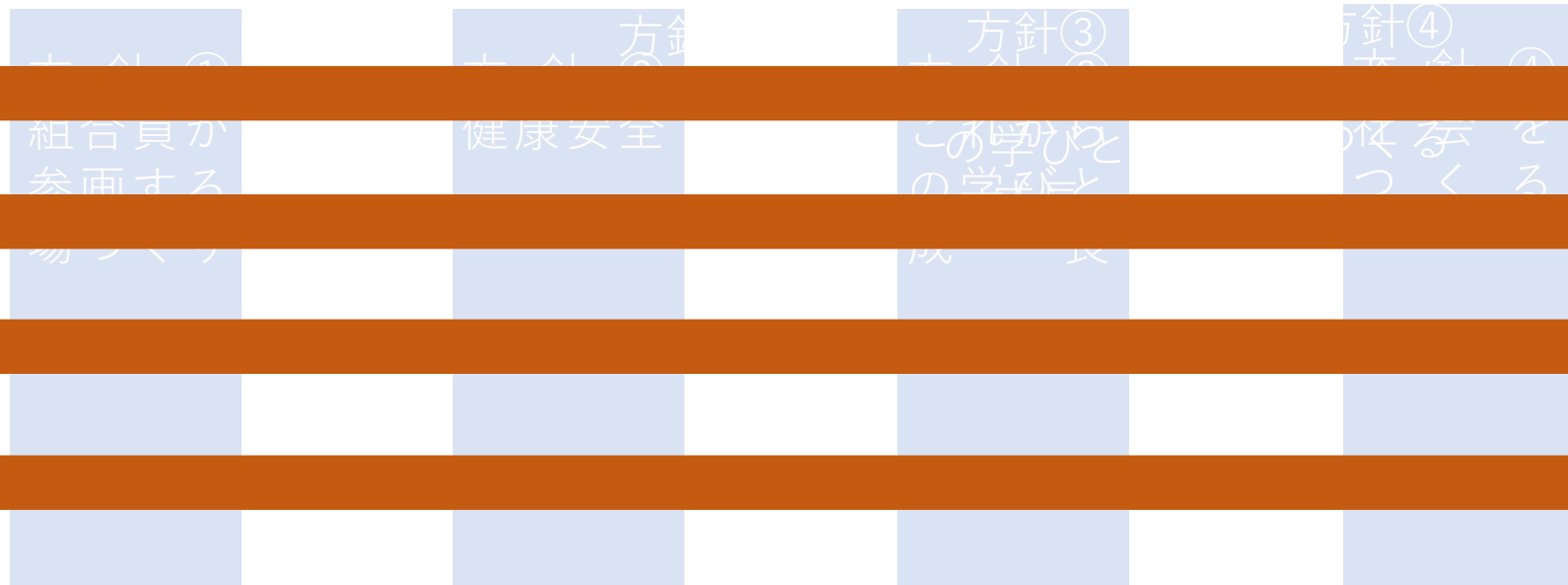
組合員をど真ん中に！組合員の参加と協同で、人がつながる・元気がつながる大学生活を創り出そう！

大切にしたい視点①
組合員どうしがつながる

大切にしたい視点②
組合員が運営に参加する

大切にしたい視点③
組合員の生活を軸とした
大学との協力

大切にしたい視点④
幅広い連帯で組合員の
よりよい生活をつくる



大切にしたい視点①

組合員どうしがつながる

P.31

大学生協は人と人のつながりを創り出し、
コミュニティを元気にする組織です。

- 人と人とのつながりをつくる大学生協
- 共通のニーズや願いを出してもらうこと
を通じて、人と人とがつながる
- コミュニティとつながり、ハブになる

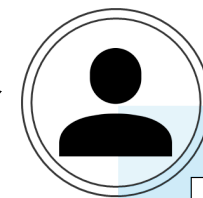


大切にしたい視点② 組合員が運営に参加する

P.32

大学生協は組合員自身が運営に参加し、利用することで大学生活を充実させられる組織です。

- 組合員が運営に参加することにこだわる
- 運営参加を広げる中心的な役割を果たす組織委員会
- 組織委員である組合員と生協職員が一緒に実現する
- 生協職員や組織委員に「やってもらう人」から「一緒にやる人」へ



大切にしたい視点②

組合員が
運営に参加する



大切にしたい視点③ 組合員の生活を軸とした大学との協力

P.33

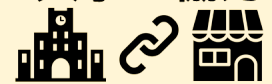
大学生協は、大学と協力して組合員の生活支援と学修支援を行う組織です。

- 私たちの出発点は「組合員の生活」
- 生活支援と学修支援
- お互いが知っている学生像を共有し、それぞれの立場からできることを話し合う
- 大学へ訪問するときは学生も一緒に



大切にしたい視点③

「学生支援」のための
大学との協力



大切にしたい視点④

幅広い連帯で組合員のよりよい生活をつくる

P.33

大学生協は、共通の考え方を持つ組織とつながり、互いに支え合い・学び合い・励まし合うことで、よりよい生活をつくることのできる組織です。

- 社会を変える・動かす力を持っている
- 連帯での支え合い・学び合い・励まし合い
- 社会の共通言語としてのSDGs
- 地域社会との連携・協同組合間協同



2) 2022年度の全国の大学生協の活動方針と大切にしたい視点

P.33

○活動方針

タテ

取り組みの**分野や性質ごとに設定**した2022年度の指針

2022年度の活動テーマ

組合員をど真ん中に！組合員の参加と協同で、人がつながる・元気がつながる大学生活を創り出そう

方針①
組合員が
参画する
場づくり

方針②
健康安全

方針③
これから
の学びと
成長

方針④
社会を
つくる

方針①組合員が参画する場づくり



P.34

私たちは、組合員が大学生協に参画する場面をつくり、組合員・大学が必要とし、組合員が参画したくなる大学生協づくりを進めます。

1

【組合員どうしがつながる】



- ✓ 生協加入を増やしましょう。
- ✓ 部活・サークルとつながり、組合員どうしがつながる場づくりを行いましょう。
- ✓ 事業を通じて組合員がつながる場を作りましょう。

2

【組合員が運営に参加する】



- ✓ 理事会では、組合員の生活実態・実感を踏まえた意思決定を行いましょう。
- ✓ 学生委員・学生スタッフ・生協職員が協力して「くらしの向上」に向けて取り組みましょう。

3

【組合員の生活を軸とした大学との協力】



- ✓ 組織委員が一人の組合員として、周りの組合員とともに自分たちの生活を向上させる取り組みを行っていることを大学に伝えましょう。

4

【幅広い連帯で組合員のよりよい生活をつくる】



- ✓ 連帯活動を通じて大学生協の価値や魅力を確認し、地域社会や大学生協見設立の大学に、大学生協の価値や魅力を伝えていきましょう。
- ✓ 他の協同組合・組織から生活分析や運営参加を広げる取り組みを学び、反映させましょう。

方針②健康安全



P.36

私たちは、組合員の生活実態を把握し、つながりづくりや組合員どうしがたすけあう取り組みを通じて健康で安全な大学生活を実現します。

1

【組合員どうしがつながる】



- ✓ 学生総合共済加入者を増やし、共済を通じて組合員どうしがつながりあえるようにしましょう。
- ✓ 給付事例学習会を通じて、組合員の大学生活の実態を把握しましょう。

2

【組合員が運営に参加する】



- ✓ 部活やサークルと一緒に加入・予防・給付・報告の活動に取り組みましょう。

3

【組合員の生活を軸とした大学との協力】



- ✓ 大学保健管理施設や学生支援課といった学生生活に関わる大学部署等と、組合員の生活実態・病気やケガの実態を共有し、健康で安全な大学生活づくりを進めましょう。

4

【幅広い連帯で組合員のよりよい生活をつくる】



- ✓ 地域生協との相互交流・相互理解を進め、相互に連携した組合員の「くらしの向上」を進めましょう。

方針③これからの学びと成長



P.37

私たちは、変化する組合員の学び方や大学の学修支援について把握し、組合員が仲間とともに自己実現・成長する機会づくりを行います。

1

【組合員どうしがつながる】



- ✓ 生協の学びの講座を通じて、組合員どうしがつながりあい、切磋琢磨する中で自己実現・成長できる機会を作りましょう。

2

【組合員が運営に参加する】



- ✓ 組合員一人ひとりの大学での「学び」や「得意なこと」が大学生協の事業を通じて実践できるようにし、組合員が成長できる機会を作りましょう。
- ✓ 大学での学びに必要なものを、組合員の声を集めて提供できるようにしましょう。

3

【組合員の生活を軸とした大学との協力】



- ✓ 組合員の生活実態から見てきた学修に関するについて、大学と大学生協が協力してできることを行いましょう。

4

【幅広い連帯で組合員のよりよい生活をつくる】



- ✓ 地域でのボランティア活動や組合員活動を通じて学生の社会体験の場をつくりましょう。

方針④社会をつくる



P.38

私たちは、持続可能な社会の実現に向けて、組合員の興味・関心を出発点に、知り、知らせ・考え・話し合い・行動するきっかけづくりを行います。

1

【組合員どうしがつながる】



- ✓ リ・リパックの回収運動や割りばし回収運動をはじめ、組合員が力を合わせることで実現できる社会的課題解決の取り組みを進めましょう。

2

【組合員が運営に参加する】



- ✓ 社会的課題の解決に取り組む学内サークルとつながり、生協店舗を通じたSDGsの推進や持続可能な社会の実現に向けてできることを行いましょう。

3

【組合員の生活を軸とした大学との協力】



- ✓ 大学で取り組まれているSDGsに向けた取り組みを知り、組合員が大学での学びを大学生協の事業活動を通じて実現できる機会を作りましょう。

4

【幅広い連帯で組合員のよりよい生活をつくる】

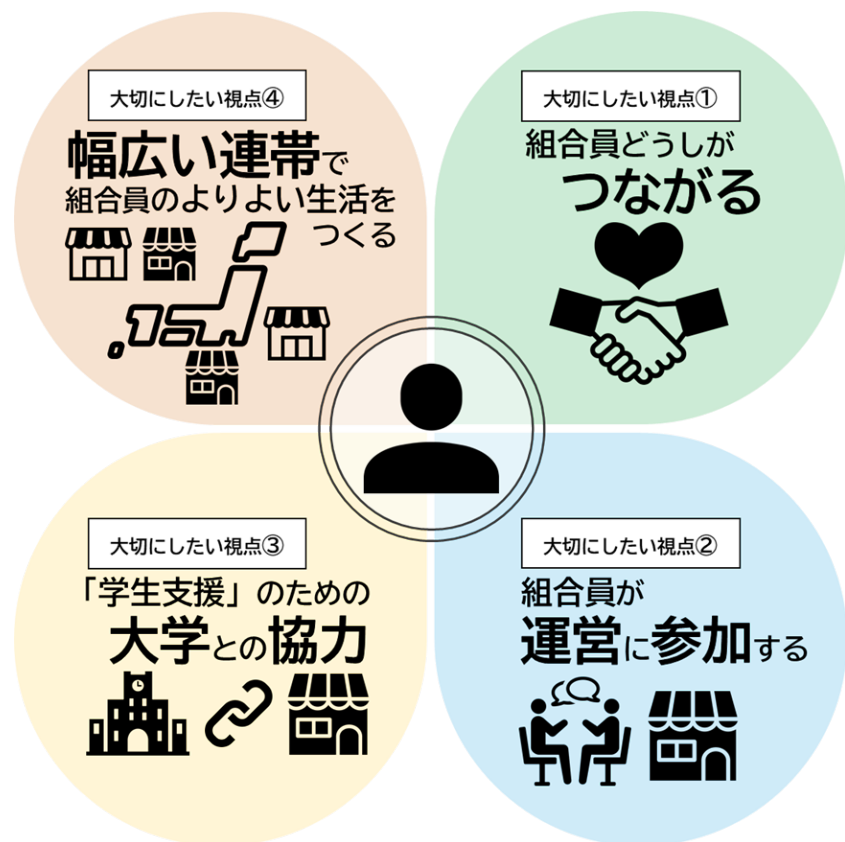


- ✓ 特にSDGsの取り組みをはじめとした環境・社会の問題について、地域社会と連携した取り組みを進めましょう。

つながる元気、ときめきキャンパス。

組合員をど真ん中に！

組合員の参加と協同で、人がつながる・元気がつながる大学生活を創り出そう！



活動方針①：組合員が参画する場づくり

私たちは、組合員が大学生協に参画する場面をつくり、組合員・大学が必要とし、組合員が参画したくなる大学生協づくりを進めます。

活動方針②：健康安全

私たちは、組合員の生活実態を把握し、つながりづくりや組合員どうしがたすけあう取り組みを通じて健康で安全な大学生活を実現します。

活動方針③：これからの学びと成長

私たちは、変化する組合員の学び方や大学の学修支援について把握し、組合員が仲間とともに自己実現・成長する機会づくりを行います。

活動方針④：社会をつくる

私たちは、持続可能な社会の実現に向けて、組合員の興味・関心を出発点に、知り、知らせ・考え・話し合い・行動するきっかけづくりを行います。

第1号議案

全国大学生生活協同組合連合会
第65回通常総会

